

## 競技注意事項

### 1. 競技規則について

本大会は、2023年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定よって行う。

### 2. 入場・受付について

	入場ゲート
選手	Cゲートより入場
競技役員	1Fエントランスより入場し、学校・役員受付
引率責任者 同伴者	Cゲートより入場 ※補助競技場は立入禁止

### 3. 競技会場入場制限

**\* 引率時、P1前または補助競技場前での選手の乗降は禁止です。大変危険なので厳守してください。**

<開門時間>

メイン競技場	Cゲート 7:30
補助競技場	7:30 ※選手・競技役員のみ入場可

<入場制限>

	入場ゲート	競技場	補助競技場
選手	Cゲート	メインスタンド・1F通路	利用可
競技役員	1Fエントランス	競技役員控室 メインスタンド・1F通路	利用可
引率責任者 同伴者	Cゲート	メインスタンド	利用不可

### 4. 招集について

- (1) 招集は現地招集とする。点呼を受けない者は棄権とみなす。
- (2) 招集時間は次の通りとする。招集に遅れた者は棄権とみなす。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始20分前	競技開始10分前
フィールド種目	競技開始30分前	競技開始20分前

<最終招集の手順>

- ・ 最終招集までに競技服装になっておくこと。  
その際に、アスリートビブス(胸背腰)及びスパイクシューズの点検を受ける。
- ・ この招集を受けなかった選手は失格になる。
- ・ アスリートビブス(胸・背・腰)は招集までにつけておくこと。

<リレーについて>

- ・ 今大会に限り、ユニフォームが揃ってなくても出場を認める。
- ・ オーダー用紙は役員受付時に顧問に配布する。
- ・ オーダー用紙は、各競技の第1組の招集完了時刻の1時間前までに本部記録係まで顧問が提出すること。

<多項目同時出場届について>

- ・ 2種目に引続いて出場する場合などで、次の種目の点呼に出席できないような場合には、「多項目同時出場届」を競技役員受付時に顧問、または選手が受付に提出すること。  
※届出用紙はHPよりダウンロードして各校で準備すること。

### 5. 競技運営について

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号で示す。
- (2) (着順ではなく)時間を元にしてTR20.3.2によるランキングの順位が同じ場合は、写真判定員主任は0.001秒の実時間を考慮しなければならない。  
それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。  
※その場合は、アナウンス及び電光掲示により知らせる。 [TR21.2]
- (3) トラック競技のスタートにおいて、「On your marks(位置について)」または「Set(用意)」の合図の後、音声その他の方法で、他の競技者を妨害したときは不適切行為とみなす。  
[TR16.5.3]
- (4) スタートにおける不適切行為は、TR16.5を適用せず注意にとどめる。
- (5) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- (6) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- (7) フィールド競技のマーカー(主催者が準備したもの、または承認したもの)を、2個まで使うことができる。  
マーカーが準備されない場合、粘着テープを使用してもよい。 [TR25.3.1]
- (8) サークルから行うフィールド競技では、マーカーを1つだけ使用することができる。  
[TR25.3.2]
- (9) 抗議は原則認めない。ビデオ等での抗議は対象としないこととする。
- (10) トラックレースはタイムレース決勝とする。
- (11) フィールド種目は走高跳を除き、試技は3回とする。

6. 競技による入退場について
- (1) 入場は競技の妨げにならないよう招集場所に行くこと。(バックストレート側ダグアウト及び1F本部前通路を利用すること)
  - (2) トラック競技の競技者は走り終わった者はバックストレート側ダグアウト及び1F本部前通路を通り、スタート地点へ戻り荷物を持って退場すること。その際、競技の妨げにならないようにすること。(※1F本部前通路はスパイクを脱ぐこと)
  - (3) フィールド競技出場者は、競技役員の指示に従って退場すること。

7. アスリートビブス(胸・背・腰)について

- ・ アスリートビブス(腰)は各校で用意すること。(800m以上の種目を除く)。
- ・ 800m以上の種目は雨天練習場ナンバーカード係で貸し出す。競技終了後は、ゴール地点返却かごに戻すこと。
- ・ 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブス(胸・背)をつけなければならない。
- ・ 跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでよい。
- ・ アスリートビブス(胸・背)は通常はスタートリストに記載のものと同じナンバーでなければならない。
- ・ トラック競技出場者は、アスリートビブス(腰)をランニングパンツ右側上部やや後方につける。

8. 用器具について

- ・ 競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。
- また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んで서는ならない。

9. 記録について

- ・ 記録については、貼りだしは行わない。
- ・ 記録に関してはアスリートランキングHPで行う。 <http://www.athleteranking.com/>
- ・ 速報は電光掲示にて発表する。
- ※アクセス集中時は閲覧を制限することがある。

10. ウォーミングアップについて

- (1) 補助競技場を原則とする。芝生内は一切、立ち入り禁止とする。
- (2) 引率責任者は補助競技場の利用・観戦はできない。
- (3) 競技場周辺での練習、駅伝試走等は禁止する。
- (4) ハードル練習について
  - ・ 補助競技場には設置しない。
  - ・ 個人のハードルの持ち込みは禁止する。また、競技場周辺でのハードル練習は一切禁止する。
  - ・ 7:30～8:40までメイン競技場に設置しているものを使用可とする。
- (5) 投擲練習について
 

今大会は投擲練習場を設置しない。補助競技場や競技場内周辺での投擲練習は禁止とする。

11. 走高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競技
走高跳	男子	1m25	1m30 1m35 1m40 1m45 1m50 1m55 … 以上3cmずつ
	女子	1m10	1m15 1m20 1m25 1m30 1m33 … 以上3cmずつ

- \* 当日、練習・競技開始の高さは変更する場合がある。
- \* ジャンプオフは行わない。

12. WA規則第143条(TR5:シューズ)の対応について

- ・ 大会はWA規則第143条(TR5:シューズ)を適応する。
- ・ 規定シューズ以外のものを使用している場合は出場不可もしくは失格とする。

13. 競技場使用について

- (1) 競技場の開門時刻は午前7:30とする。
- (2) 本部前の通路は、役員・選手共に通行可能とする。
- (3) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは必ず持ち帰ること。
- (4) 不審者や不審な行為をみつけた場合は、すみやかに近くの競技役員に連絡すること。
- (5) 選手・引率責任者は、メインスタンドを利用し、基本的な感染症対策を各自で行うこと。
- (6) サイドスタンド・バックスタンドへは立ち入らない。
- (7) 選手が競技場内にて携帯電話等電子機器を利用・撮影を行わないこと。

14. 表彰について

個人:各種目1～3位まで賞状を授与する。  
 団体:総合得点1～3位まで賞状を授与する。

15. その他

- (1) 競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるように協力すること。
- (2) 競技場周辺での場所取りや、待機場所として使用はすることは禁止とする。
- (3) 施設の備品を持ち帰らないようにすること。
- (4) 競技場内・周辺ではルールやマナーを守ること。
- (5) 発熱や体調不良がある者の大会出場については慎重に判断すること。
- (6) リザルトはWebに掲載する(掲示板への貼り出しはしない)。
- (7) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。
- (8) 競技会当日、午前6:00に神戸市に気象警報(波浪以外)が発令された場合は中止とする。

## 16. 撮影について

悪質な写真(ビデオ)の盗撮を未然に防ぎ、生徒や選手をこれらからの被害から守るために、大会中の撮影許可を下記の場合に限らせていただきます。

①大会運営本部より許可した報道関係者

②大会出場選手の引率責任者

※撮影されている方に、上記に該当するか確認させていただく場合があります。



